

CCSBT第4回管理手続きワークショップ

議題案

付託事項

1. 2005年2月シアトルで開催された小技術会合で指定されたトライアルにおいて試験された管理手続き（以下、MP）のパフォーマンスを評価する。
2. 好ましいMP候補の限定されたセットを選択する。
3. 委員会に対する評価トライアルの結果の報告について考える。
4. 資源状況の新しい指標に基づき必要となる場合は、両方のレファレンス及びいくつかのラバストネスセットに基づく予測結果の考察について議論し（異なるチューニングレベルの結果に最終勧告を行う前に）、これをSAG 6においてできるように計画を定める。
5. MPの実施後、資源状況及び特別な状況の評価を行うために必要となるメタルールについて議論する。

議題

1. 付託事項及び議題の採択
2. シアトルで開催された小技術会合の結果
(アナ・パルマ博士が2005年2月に行われた会議における発見及び結論を発表する。)
3. 管理手続き候補のパフォーマンス
3.1 2005年2月以降行われたMPトライアルの結果のレビュー
(各国科学者がまとめたトライアルの結果に関するペーパーについて議論する。)
4. 管理手続き候補の選択
4.1 限定されたMPセットの選択手続き
4.2 MPの選択
5. 指標の分析及びメタルール
5.1 MPに関係する将来の指標の使用

(2月の会議において、与えられたチューニングレベルにおけるMPのパフォーマンスは最近の加入量の推定に敏感であることが留意された。これらは、非常に限られたデータに基づいているため、(i)異なるチューニングレベルの結果に関する最終勧告及びSAG 6において検討される指標分析には新しいデータを考慮する、(ii)両方のレファレンス及びいくつかのラバストネスセットからの予測結果に対するアプローチを議論する必要がある。)

5.2 メタルール

5.3 SAGに備えて必要とされるさらなる分析 / ソフトウェアの修正

6. 実施上の問題及びその他の考慮すべき点

6.1 管理手続き候補の実施のためのデータ入力の仕様及びデータ提供のプロセス

6.2 メタルール実施のためのデータ入力の仕様

7. 作業計画及び予定表

(コンサルタントが再コード化及びMP候補のテストを行い、得られた結果をまとめる。)

8 特別諮問会合のための報告の構想及び内容

8.1 特別諮問会合に対する報告の準備

8.2 CCSBTへの結果発表のあり方

(特別諮問会合の構造及び議題を考慮する。)

8.3 管理手続きセットのテスト及び選択のプロセスの文書化

9. その他事項

10. 報告書の採択

11. 閉会